

NANOホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長CEO 松村 淳
(4571 東証グロース)
問合せ先 IR 担当 土屋 千映子
電話番号 03-6432-0020
URL <https://www.nano-hd.com>

当社投資子会社が運営するファンド「Bio Bridge I」 株式会社ナティアスへ出資

当社の投資子会社である Nano Bridge Investment 株式会社（NBI）が運用する「Bio Bridge I」において、株式会社ナティアスへ出資しましたので、お知らせいたします。

NBI は、ナティアスが有する独自技術「Blockmer®」の世界的な競争優位性、国家プロジェクト等への採択実績等を総合的に評価し、日本の優れた技術を海外資本やグローバルネットワークと結び付けて企業価値向上を目指す当社グループの Gateway モデルとの高い親和性を有すると判断し、投資を決定いたしました。

【株式会社ナティアス 会社概要】

所在地：神戸市中央港島南町 5-5-2

代表者：代表取締役 片岡正典

設立日：2015 年 10 月 2 日

事業内容：長鎖核酸合成技術を基盤とした核酸原薬等の製造・販売

ナティアスは、核酸医薬、mRNA 医薬及びゲノム編集分野における核酸原料や製造技術を開発するディープテック企業です。独自の核酸合成技術 Blockmer®を中核技術とし、従来の製造方法では困難であった製造効率の向上、不純物の低減及び大量生産の実現に取り組んでいます。

■独自技術 Blockmer®

Blockmer®は、核酸をブロック単位で組み立てる独自の核酸合成技術で、日本、米国、欧州、中国及びインドにおいて特許を取得しています。従来の核酸製造では、核酸を構成する塩基を一つずつ順番に結合させるため、製造する核酸が長くなるほど工程数が増加します。これに伴い、目的とする長さに満たない核酸などの不純物が生じやすくなり、精製工程の複雑化、原料ロス、製造コスト及び廃液の増加が課題となります。特にゲノム編集用ガイド RNA などの長鎖核酸では、高品質化と大量生産の両立が難しく、次世代医療の普及を支える製造技術の高度化が求められています。

Blockmer®は、従来法と比較して製造工程の短縮や高品質な長鎖核酸の製造を可能とし、ゲノム編集や mRNA 医薬など次世代モダリティ向け技術として活用が進められています。

■多角的なビジネス展開と成長性

ナティアスは、独自製品の販売から CDMO（受託開発製造）、技術ライセンスまで、バランスの取れた事業ポートフォリオを展開しています。

①Blockmer®・核酸原料の製造販売及びライセンス

世界の研究機関や製薬会社へ製品を提供しているほか、米国大手化学メーカーとのライセンス契約を通じ、Blockmer®の北米・欧州市場への展開を推進しています。

②核酸・mRNA 関連部素材の受託合成（CDMO）

ゲノム編集用ガイド RNA などの長鎖核酸や、合成が困難な特殊修飾核酸の受託合成に加え、mRNA 製造に用いる CAP アナログを提供しています。

■政府・公的機関による採択・選定実績

同社技術は、日本の創薬・ワクチン供給基盤の強化に資する技術として評価され、以下の国家プロジェクト等に採択・選定されています。

- ・ 経済産業省「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業（デュアルユース補助金）」採択：mRNA ワクチン等に不可欠な CAP アナログや核酸アジュバント等の重要部素材について、平時の医薬品需要に対応しつつ、パンデミック等の有事にはワクチン製造事業者へ供給できる国内製造拠点となります。
- ・ AMED「CiCLE（医療研究開発革新基盤創成事業）」採択：Blockmer®を活用した液相セグメント合成法により、核酸原薬の 1 バッチ 1kg スケールでの製造・精製試験を達成し、高純度化と大量生産に向けた適応性を実証しました。
- ・ 中小企業庁「Go-Tech 事業」採択：大学との産学連携により、Blockmer®を活用した核酸連続製造装置の開発を進め、製造工程の自動化・連続化による生産性向上を目指しています。
- ・ 経済産業省近畿経済産業局「J-Startup KANSAI」選定：新規性・独創性、優位性、成長性及び国際性を備え、関西から全国・世界へ展開することが期待される有望なスタートアップとして選定されています。

当社は、本件出資の背景並びに株式会社ナティアスが有する独自技術 Blockmer®及び同社の事業内容について、より一層ご理解いただくため、紹介動画を近日中に公開する予定です。なお、本件はファンドを通じた投資であるため、投資金額は非開示としております。

以上